

「Forest Style ネットワーク」立ち上げ!!

—「森林サービス産業」の創出・推進に向けて—

「働き方改革」をはじめとするライフスタイルの変革に伴う社会的ニーズの対応など、様々な可能性を秘めた「森林サービス産業」への期待が高まっており、本年2月に開催した「キックオフ・フォーラム」*では、都市から山村に至る民間企業や団体、地方自治体から多くの方の参加があり、「森林サービス産業」への期待やその創出・推進に向けた課題等について意見が交わされました。

地域が主体となり持続可能な取組であることが求められる「森林サービス産業」は、健康、観光、教育などの分野で森林空間を活用して、山村地域における新たな雇用と収入機会を生み出し、山村振興・地方創生に貢献することが期待されます。このためには、需要者と供給者、さらにはこれまで森林と関係が希薄であった異業種・異分野の方との繋がりが必要不可欠です。

こうしたことから、林野庁では「森林サービス産業」の創出・推進に関心のある様々な分野の方々が集い、意見交換や情報共有等を図ることを目的とした「Forest Style ネットワーク」を立ち上げ、11月19日(火)に林野庁でキックオフ・イベントを開催しました。

(※詳しくは2019年4月号を参照下さい)

「Forest Style ネットワーク」とは?

「Forest Style ネットワーク」は、民間企業、団体、及び研究機関等に所属する有識者等で構成し、事務局は林野庁森林利用課が務めます。ネットワークでは、林野庁と会員間相互により優良事例をはじめ「森林サービス産業」の創出・推進に係る様々な情報共有を図り、具体的な産業の創出の動きを後押しするとともに、同ネットワークが近い将来に民間団体等が主体となった「森林サービス産業」のプラットフォームに移行していくことを目指します。

「Forest Style ネットワーク」キックオフ・イベント

キックオフ・イベントには参画団体等を中心に約100名の参加がありました。本郷林野庁長官の挨拶、木下山村振興・緑化推進室長による趣旨説明が行われ、その後、長野県、静岡県より基調報告として森林の健康利用などの先進的な取組の紹介、2017ミス日本みどりの女神である野中葵氏、2019ミス日本みどりの女神である藤本麗華氏から森林への思いや「森林サービス産業」に関連する資格取得などの活動報告があり、「森林サービス産業」の創出・推進に向けて機運の醸成を図りました。



キックオフ・イベント会場の全景



藤本麗華氏(2019 ミス日本みどりの女神)による活動報告の様子

「Forest Style ネットワーク」の詳しい案内&参加の申込みについて

「Forest Style ネットワーク」への参画団体等の募集は通年で実施していますので積極的な参加をお待ちしています(※12月3日時点で63団体等(うち、10自治体、4個人)が参画)。詳しい情報については、以下の林野庁のホームページをご覧ください。



イベントの最後に行われたネットワーク参加者の皆様との記念撮影